

# 京都市左京区総合庁舎整備等事業 建築レポート



左京区  
シンボルマーク

皆様、こんにちは、6月度の作業は、主に2階躯体の鉄筋及び型枠の組立作業を行いました。  
7月度は引き続き3階の躯体工事を行い、平行してB1階から仕上工事に入ります。  
鉄筋、型枠材及び生コン車、並びに仕上工事の搬入車輛が多く出入りします。  
ご迷惑をお掛けしますが、細心の注意を払い安全最優先で工事を進めて参りますので、皆さまのご理解、ご協力よろしくお願い致します。  
今月は、熱中症と、それに対する現場での熱中症対策についてお話しします。

## 熱中症対策

・夏期の建設工事での作業は、暑い屋外での作業のため、大量の汗をかき、水分、塩分が体内から失われますので、当作業所では下記のような熱中症予防対策をしています。

- ・快適に休憩できるよう休憩所にはエアコンを完備
- ・冷水器、製氷機を設置
- ・タブソルト(塩化ナトリウムの錠剤)常備
- ・熱中あめ(塩あめ)常備



## 完成予想パース



## ラジオ体操



毎朝、朝礼前に皆でラジオ体操をして一日の作業が始まります。始業前の準備運動と体調チェックを兼ねています。

## 全景写真

東側の先行工区では、3階躯体の工事にかかっています。



## 熱中症の救急処置

万一の緊急事態に備え、救急処置を知っておきましょう。  
【熱失神、熱疲労(めまい、失神)の場合】  
涼しい場所に運び、衣服をゆるめて寝かせ、水分を補給すれば通常は回復します。吐き気やおう吐などで水分補給できない場合は、病院に運び、点滴を受ける必要があります。  
【熱けいれん(足、腕、腹部に痛みを伴うけいれん)の場合】  
生理食塩水(0.9%)を補給すれば、通常は回復します。  
【熱射病(意識障害)の場合】  
死の危険のある緊急事態です。体を冷やししながら、一刻も早く病院へ運ぶ必要があります。いかに早く体温を下げて意識を回復させるかが予後を左右するので、現場での処置が重要です。くび、腋の下、足の付け根など太い血管のある部分に氷やアイスバックをあてる方法が効果的です。  
※熱中症予防には、水分、塩分にこまめな休憩を取ることも重要ですが、日頃からの十分な睡眠と規則正しい食生活も重要です。

## 血圧管理



新規入場者には、現場での注意事項を説明し、体調を確認するため、血圧の測定を行っています。